

# 2014年 ベッコウトンボ調査会

共催 NPO法人 桶ヶ谷沼を考える会 理事長 鈴木裕司  
野路会 会長 細田昭博  
NPO法人 岩井里山の会 理事長 加藤佐登志  
磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンター 所長 福井順治

1 日時 2014年4月29日(火) 9:30受付 10:00調査開始

2 場所 桶ヶ谷沼 磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンターに集合し、調査地点Aの台地に誘導します。

3 目的 絶滅危惧種ベッコウトンボは、春先の4月～5月中旬ごろに発生するトンボで、草原の葉先に止まっていることが多い。そのため、その年の発生個体数をおおよそ把握することができるので市民の皆様に協力していただき、トンボの種と個体数を調査することを目的としています。

4 日程 10:00 開会式の後、野路会事務局長の司会で参加者を6班に分けて、各班の専門家の講師を紹介し、調査に出発する。

11:30 集計をする

	A (台地西)	B (台地東)	C (沼周)	D (菜畑)	E (実験池)	F (箱舟)	計
2012年	15	14	43	2	3	88	163
2013年	2	20	33	1	0	140	170
2014年							

- 5 注意事項 (1) 服装は、帽子長袖長ズボン長靴手袋などで、山野に活動できる備えにしてください。  
(2) 沼縁や箱舟周辺は、危険ですので幼児や小学生は入らないようにしましょう。  
(3) トイレは桶ヶ谷沼ビジターセンターにあります。  
(4) 駐車場は、鶴ヶ池にあります。数が少ないので乗り合わせてきてください。

6 その他

1989年よりこのベッコウトンボ調査会は、桶ヶ谷沼を考える会と野路会とで始められました。1999年に47頭と最低個体数を記録し、絶滅が心配されたため静岡県立磐田南高校生物部の皆さんがコンテナによるベッコウトンボの飼育を始めました。現在では、地元の岩井里山の会の皆さんが木製の生簀(箱舟)を製作し、トンボの産卵を誘致しています。